

ねつ
痛みに

頭痛・肩こり・生理痛・神経痛

歯痛トマル

HAITATOMARU

第2類医薬品

※ 解熱鎮痛薬 ※

非ピリン系



製造販売元

吉田製薬株式会社

奈良県葛城市東室34
TEL 0745-69-2048

効能・効果

- 1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛。
- 2) 悪寒・発熱時の解熱。

用法・用量

15歳以上 1回1包

1日1回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用すること。

成分・分量 1日量(1包)中

アスピリン…………… 550mg 無水カフェイン…………… 50mg
エテンザミド…………… 250mg

添加物として、ケイヒ末、バレイショデンブンを含む。

1. 次の人は服用しないこと。

(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

注 (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

(3) 15歳未満の小児。

(4) 出産予定日12週以内の妊婦。

意 2. 服用が適さない場合があるので、服用前に医師、歯科医師、
薬剤師又は登録販売者に相談すること。

3. 服用に際しては、説明文書をよく読むこと。

4. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。

配置期限

2包(1包1g)入
¥250+税



歯痛トマール 使用上の注意

してはいけないこと

- (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)
1. 次の人は服用しないこと
 - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
 - (3) 15歳未満の小児。
 - (4) 出産予定日12週以内の妊婦。
 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬
 3. 服用前後は飲酒しないこと
 4. 長期連用しないこと

相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 授乳中の人。
 - (4) 高齢者。
 - (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (6) 次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

裏面につづく

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この製品を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胸やけ、胃もたれ、腹痛、下痢、血便、胃腸出血
精神神経系	めまい
そ の 他	鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、発熱、のどの痛み、背中痛み、過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
シ ョ ッ ク (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝 機 能 障 害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
ぜ ん そ く	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。

3. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この製品を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

【その他の注意】

用法・用量を厳守すること。

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。
(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 配置期限を過ぎた製品は服用しないこと。